

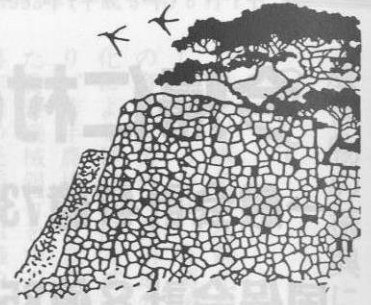
なまきじん

◆ 広報

5

1993
No.210

毎月1日発行



村役場電算システムをスタート 住民サービスの充実発展めざす

平成5年3月31日現在



男 4,748(+2)



女 4,803(-39)



世帯数
3,081(-22)

村の人口
9,551(-67)

住民サービスの充実発展、窓口業務の正確、迅速化を目指して、平成四年度より導入準備が進められていました「電算システム」が四月一日より稼働、そのオープニングセレモニーが役場玄関ホールで行なわれた。

式で上間博安村長は「メーカーの皆さんや職員の協力を得てオープンする事が出来ました。これを契機により一層住民サービスの向上に努めていきたい」とあいさつ。

この後、上間村長がキーボードを押して自分自身の住民票を引き出し、システムをスタートさせた。

今後は、平成五年度に住民票、印鑑登録証、保育料等、平成六年度は、住民税や国民健康保険税、国民年金などの各種税、平成七年度は財務会計、水道特別会計、道路台帳等、最終年の八年度には設計積算等を導入して本格的運用を図る予定です。

今帰仁村の平成5年度予算決まる

一般会計47億7339万1千円 老保会計6億4172万4千円

国保会計8億8501万1千円 水道会計3億0890万円



二十一世紀を展望する村づくり ふるさとづくり・夢づくり

三月十日開会の平成五年度第一回今帰仁村議会定例会が三月二十六日閉会しました。会議では、五年度一般会計予算案、国民健康保険、老人保健、水道の特別会計、平成四年度補正予算案が原案通り議決され、平成五年度予算が決定しました。
今議会の提案事項説明を前号で紹介しましたが今月号で残りの部分をお知らせします。



農業の振興について

近年の農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や、パイナップル、牛肉等の輸入自由化や各農産物の産地間競争の激化等厳しい状況にある。このような情勢の中でさとうきびを主体に花卉、野菜果樹及び畜産等を地域内で組み合わせた地域複合経営による生産性の高い農業を確立する必要がある。そのため農業生産基盤の整備、農用地の流動化による経営規模の拡大や各種近代化施設の整備、さとうきび収穫機の導入、中核農家の育成強化等に努めてまいりました。特に平成四年度においては農業機械銀行を設立しました。農業機械銀行は農家の高齢化や後継者不足が深刻化する中で農家の経営費の大部分を占める農業経費の節減、農業機械の効率的利用を目指し、農用地の流動化を促進し規模拡大を組織的に図る

優良農用地の確保と生産基盤の整備について

つもりであります。そのため北部地区では初めて農作業の受委託も組織し、事業の推進を図っているところであります。
今後ともなお一層の施策を計画的に推進してまいります。その施策として
生産性の高い農業を図るため、今泊土地改良事業、呉我山西アザナ原土地改良事業、湧川鎌城土地改良事業、呉我山古坪土地改良事業、謝名土地改良事業、謝名東土地改良事業、崎山土地改良事業等が実施あるいは近々認可されますので積極的に事業を進めてまいります。その他の土地改良区につきましても、今後とも積極的に推進してまいります。農道の整備につきましても長年の計画でありました吉事農道整備事業が、平成三年度より着手されましたので、年次毎の整備を進めてまいります。また、構造改善事業による農道も計画的に進めてまいります。

農作物の振興について

農業従事者の高齢化が進行しつつある今日、農業後継者の育成に努め、農用地の流動化による経営規模の拡大を図り、昨年農協に設立された農機センターを中心とした農業機械銀行の育成を農作業の受委託組織の育成を図り、機械化農業によりコストの低減を図るとともに、野菜集団産地育成事業等の推進に努めます。

林業の振興について

乙羽岳生活環境保全林を中心に林業特別事業や林道舗装事業の導入と併せて松くい虫防除事業等を推進してまいります。また、新沖縄林業振興特別対策事業の導入による緑化木生産組合の育成強化に努めます。

畜産の振興について

牛肉の輸入自由化に伴い本村の畜産農家は厳しいものがある。そのため今後は高品質

水産業の振興について

水産業の振興を図るためにはまず漁港の整備を行うことが重要だと思えます。そのため運天漁港建設事業の積極的推進を図ると共に伴わせてウニ移植栽培漁業の奨励、漁船の近代化大型化、又、漁業組合の育成強化等を図り経営の安定強化を図ってまいります。

商工業及び観光の振興について



商工業の振興を図るためには、商工会を中心に流通体制の整備、情報化社会に対応した宣伝を推進する。又、商工会への運営補助も行い組織の強化育成に努めると共に観光振興についてもリゾート大学、酒田村の継続、本村の紹介、ビアール等を行い観光客の受け入れ体制の強化や併せて観光地の美化等に努めてまいります。

日本一フルーツ産地をつくる事業

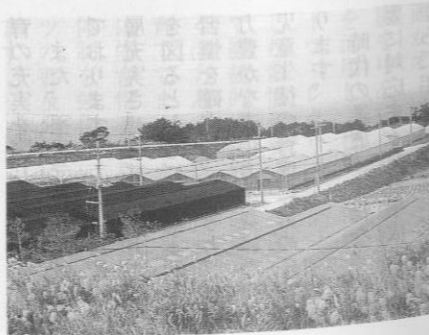
農業後継者があまり伸びない昨今、花卉、スイカに続く作物の育成を図るため亜熱帯気候を生かした熱帯果樹は、今後の有望な作物であるものと考えます。昨年度から実施しているふるさと創生事業による、マンゴー、ピワ、グアバ等に対する助成の要望も多い。平成四年度については、個人経営農家のマンゴーハウスが五戸、組合組織によるマンゴーハウスが二組合となり村の単独事業として助成をしていく予定であります。今年度以後についても各集落からの問

中山間地域農村活性化総合整備事業について

一昨年から取り組んできました中山間事業については、平成四年度に認定され、年次毎に事業に取り組みようになっております。この事業は山間地域の活性化を図るために実施されるもので、玉城、謝名、呉我山、平敷、崎山、仲尾次の整備が主であります。地場農作物の直売店、体験農園も計画され、村全体への波及効果も期待されているところである。

農業委員会

近年、農産物の輸入自由化及び農業者の高齢化、担い手不足等農業をとりまく環境は著しく変動し、構造転換が要求されつつあり、ますます厳しさを増してきております。このような情勢の中において農業、農村の活性化を促進するためには、引き続き構造政



策の推進に関する目標を明らかにし、地域農業のあり方についての同意形成を図るとともに産業として自立できる足腰の強い農業経営を育成することの重要な課題となっております。

このため、地域の実情に即した優良農地の併合、農地の利用集積等(規模拡大)、農業経営の基盤強化と、農業経営の確立及び農業担い手の育成確保を推進していかねばなりません。

本年度も引き続き農業委員会活動の重点施策として農地転用の許可可業務並びに農地を守り有効利用する運動等、農政活動の充実を図るとともに、その重要性を充分認識し適正に活用できるよう関係各機関、団体との連携を密にし、

農業委員会等の権限に属する事項を遵守し的確に業務を遂行してまいります。

また、違反転用防止を図るため、定期的に農地パトロールを実施し農地の適正合理化を図ります。

農業者年金については、農業者の老後の生活安定を確保するため加入促進を積極的に推進してまいります。さらに本年度は、標準外作料の改定設定及び農業委員の改選の年に当っております。従って農業者の適格認定、選挙人の名簿調整等、制度上の基本となる農地基本台帳を整備促進し的確にその運用を図っていきます。

和と輪でつくる住みよい環境

道路整備について

本村の道路は、復帰後積極的に整備を推進してまいりました。道路の整備促進は地域の活性化と豊かな生活を実現するための課題であり、道路交通の安全、環境と調和したゆとりある生活の実現、活力ある地域社会の形成を図るため道路整備を計画的に推進し

ていきます。本年度の道路整備事業は、継続工事で、仲宗根運天線外四件、新規事業として天底線と仲宗根運天線の舗装新設が計画されており、事業費総額は、四億八千四百三十三万ととなっております。

平敷伊豆味線は、県代行で平成四年度より、着工しており、本年度も継続して実施されます。

村営住宅建設について

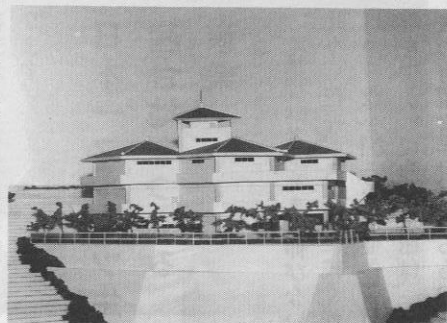
本村も核家族化の進行と、若年者のUターン現象が増えています。村内での住宅確保が容易でない現状であります。

村営住宅の建設は、住宅事情の緩和と村民福祉の向上のために極めて重要な施策であると思っております。

昭和五十九年以来、平成四年度までに湧川団地外六団地で合計六十戸が建設されました。しかし、現在なお村民の村営住宅建設に対する要望は旺盛なものがあ、地域の活性化と住環境の整備を図るため、今年度も十二戸の建設を計画いたしております。

農業総合整備モデル事業について

集落の居住空間の整備を図り、村民の生活と社会福祉の向上に寄与するため、昭和五十四年度より、本事業を実施してまいりましたが、平成四年度で十四ヶ年を経過し現在までに導入した事業は、約二



十一億五千万円となっております。本事業は、平成五年度の完了を目指し現在推進しているところであり、引き続き村民各位の御指導と御協力をお願い致します。

本年度も前年度に引き続きまして、農業用排水路二件、農業集落道八件、農村公園六ヶ所を整備実施していきます。村民が安全で快適な環境の下

で生活を営めるよう生産基盤と生活環境の整備を図っていきます。

水道事業について

水道事業は、村民に欠くことのできない重要な事業であります。村民が健康で文化的な生活を営むため、水を安定的に確保するため、これまで水道施設の整備充実を図ってまいりましたが、平成五年度におきましても、四年度の天底地区簡易水道事業の一環として呉我山地区の整備を国庫補助事業として実施してまいります。「断水のない低廉な給水事業」を目標に自己水源の安定確保、浄水場の維持管理に努めると同時に村民の協力を得て、収納率の向上にも力を傾注し、水道事業の健全な運営を図り、今後とも水質の改善、有収率の向上に努めてまいります。

創造性・国際性に富む心豊かでたくましく生きる村民の育成

教育基本法に示された個性の尊重を基本とし、生涯学習の観点にたつて、郷土の自然

と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と文化・スポーツの振興を期して、次のことを目的に教育施策を推進します。

学校教育の充実について

二十一世紀を担う児童生徒の知・徳・体の調和のとれた全面的な発達をめざし、「心の教育」「基礎・基本の重視と個性化教育の推進」「自己教育力の育成」「文化と伝統の尊重と国際理解の推進」を基盤とした教育を推進します。各学校における教育課程の編成・実施・評価をはじめ、教育条件の整備等、具体化のための施策を推進し、生涯学習の基礎づくりとして学校教育の充実を図ります。

また、平成元年から推進しております学力向上対策を一層充実させ、基礎学力の向上を図るとともに、基本的生活習慣を確立し、思考力、判断力豊かな表現力を身につけた児童生徒の育成に努めてまいります。

教育の導入をします。また、教育効果を高めるため老朽校舎の改築、内部設備の充実、環境美化等の整備に一層努力し快適な学校施設の整備に努めてまいります。

また社会教育施設の整備、更に、村民の生きがいづくり、そして自己の充実、啓発のため各種大会の開催はもちろん各学級、教室、講演会、村民芸術劇場等を実施して村民の資質を高め「うるおいとやすらぎのある生活」の向上に努めてまいります。

青少年の健全育成について

青少年が心身ともに健やかに成長することは、村民の願いでありこの願いを実現するために、家庭・学校・地域社会はその役割を生かし、連携・強力を一層強化し青少年の健全育成に努めてまいります。

青少年の健全育成については、生活体験学習、自然体験学習や地域活動及び「ふれあい少年の翼」などの交流事業を進めるとともに村青少年健全育成協議会学力向上対策委員会、村PTA連絡協議会等を中心に学校・家庭・地域・行政が一体となって「家庭教育の充実」「子ども会活動の促進」に努力してまいります。また「六・三〇運動」を展開し、「望ましい生活リズムの確立」「夜間外出、深夜徘徊の防止」等の指導体制の強化に努めてまいります。

体制を整え他県の青少年との交流を通して相互理解を深め、視野を広めると共に、規律正しい団体生活等、青少年の健全育成へ向けての諸活動を展開し、来たる二十一世紀のリーダーの育成に努めてまいります。

面がオープンします。運動公園を中心とした社会教育施設を活用し、村民が体育・スポーツ・レクリエーションに親しむ習慣を養い、生涯を通して継続的に実践し健康で明るく活力ある生活を営む態度を育ててまいります。そのためにも体育指導員を中心に指導体制を強化し、体育・スポーツの普及発展に努めてまいります。

おわりに

以上村政運営に当たっての基本的な考え及び主要施策の概要について申し上げます。概して、執行に当たっては、本村の将来像を見据えて、努力をおしまない決意であります。特に今年度は、大型三大プロジェクトの芽出し及び着工をする意義深い年度であると確信いたします。

今後とも行政の効率的な運用を図り村民の生活向上に向けて全職員が英知を結集し、より一層努力してまいります。ご意見を伺います。今度も村政の発展に協力をお願い申し上げます。私の施政方針といたします。今帰仁村長 上間博安

国民健康保険特別会計予算

歳入(千円)		歳出(千円)	
健康保険税	279,097	総務費	30,417
国庫支出金	482,400	保険給付金	627,790
療給交付金	8,710	老健拠出金	188,254
繰入金	112,790	共事拠出金	5,146
その他	2,014	保健施設費	3,522
合計	885,011	その他	29,882
		合計	885,011

老人保健特別会計予算

歳入(千円)		歳出(千円)	
支基金交付金	449,716	医療諸費	641,716
国庫支出金	128,000	諸支出金	3
県支出金	32,000	予備費	5
繰入金	32,000		
繰越金	1		
繰上金	7		
合計	641,724	合計	641,724

水道事業特別会計予算

歳入(千円)		歳出(千円)	
事業収入	148,879	総務費	47,694
国庫支出金	75,320	事業費	206,510
繰入金	31,000	公債費	54,543
諸収入	500	災害復旧費	1
繰越金	1	予備費	152
村債	53,200		
合計	308,900	合計	308,900



老人福祉向上に期待 サービス事業、実施主体が村へ

在宅の虚弱老人に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、その方々の生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図ることを目的とした今帰仁村老人デイサービス事業が、五月一日から今帰仁村が実施主体となり今帰仁村社会福祉協議会に事業運営を委託して実施することになりました。



レクを通して、生きがいがづくりと健康維持!

デイサービス事業は、平成二年から村社会福祉協議会が中心となり地域福祉基金を活用して行ってきましたが、村が実施主体となることにより、国・県の補助金が受けられますので、利用人員の増員サービス内容、職員配置等の充実が実現し、村の老人福祉の向上に寄与するものと期待しております。

- 対象者は、今帰仁村内に居住するおおむね六五歳以上の方で、身体が虚弱なため日常生活を営むのに支障がある方々となっております。
- デイサービス事業の内容としては、
- ア、入浴サービス
 - イ、食事サービス
 - ウ、生活指導(レクリエーションを含む)
 - エ、養護
 - オ、送迎サービス
 - カ、健康チェック

各学校で入学式

あたたかい雰囲気の中 新1年生を迎える

市内の各小中学校で平成五年度の入学式が四月七日、八日の両日各学校の体育館で催

され、新入生はどの顔も緊張の中にも明るい雰囲気には包まれていた。

入学式を迎えたのは、小学校一四二人(湧小一二人、古宇利小五人、天小三六人、今小五二人、兼小三七人)中学校一六七人(湧中一五人、古中四人、今中一〇四人、兼中四四人)。

兼次小学校では、花で飾られたアーチを元氣よく入場。上級生や先生、父母等の祝福を受け入学式に臨んだ。

兼次校長は式で「新入生のみなさん入学おめでとうございます。自分の事は自分でする。車に気をつける。先生のお話をよく聞いてりっぱな一年生になって下さい」とやさしい言葉で激励した。

この後、在校生が「あの青い空のように」を唄い、新入生を歓迎。これにこたえて新一年生は「一年生になったら……」を元氣よく唄い、学校生活をスタートした。



飛躍の門をくぐり元氣よく入場

空のように」を唄い、新入生を歓迎。これにこたえて新一年生は「一年生になったら……」を元氣よく唄い、学校生活をスタートした。

日本赤十字社より

災害救護車の贈呈

日本赤十字社沖繩支部より災害救護連絡車が寄贈された。引渡式は、三月八日午後二時より、役場構内で関係職員が出席して行なわれ、日赤沖繩支部事務局長の成底哲氏より、日赤今帰仁分区分長の上間博安氏(今帰仁村長)にキーが手渡された。

上間博安分区分長は「赤十字の人道的事業を推進するため救援活動など赤十字関係事業遂行目的のために大切に活用



成底事務局長よりキーの贈呈

してまいります」とお礼の言葉を述べた。

今帰仁村社会福祉協議会

採用候補者試験募集公告

- (1) 職種 (一般事務職)
- (2) 受験資格
 - イ) 高校卒業以上の者、又は、同等以上の学力を有する方。
 - ロ) 年齢、平成5年7月1日現在28才未満の者。
- (3) 提出書類
 - イ) 採用試験申込書……1通
 - ロ) 自筆履歴書(横書、写真貼付のこと)……1通
- (4) 試験期日、場所
 - イ) 期日、平成5年6月6日(日)午前9時
 - ロ) 場所、今帰仁村コミュニティセンター
- (5) 応募受付及び締め切り期間
平成5年5月17日(月)~5月27日(木)
但し土・日曜日は休みです。
- (6) 試験科目
小論文・面接とする。
- (7) 結果通知
合格決定後本人に通知する
- (8) 詳しくは、社会福祉協議会 (56-4742) までお問い合わせ下さい。

日本一交通安全の村をめざす 交通安全の塔を建立

本部地区交通安全協会の四十周年記念事業の一環として「今帰仁村交通安全の塔」が仲宗根地区公園脇に建立され、その除幕式が四月六日午後より行なわれた。

式には、上間博安村長、知花本部署長、大見本部地区交通安全協会会長等関係者百名余が出席して、交通事故のない日本一の村を祈願。

式典後の祝賀会で上間博安村長は「建立を契機になお一層の交通事故防止に努め事故のない今帰仁村を築いていき

- たい」と交通安全の推進を誓った。
- また、建立の為に尽力下さった
- 美樹園・塩川園
 - 協和工業・興栄
 - 土建・高安重機
 - 今帰仁村建設業協会
 - 玉城千喜氏
 - 大城武雄氏に知花源徳本部署長より感謝状が贈られた。



新教育委員長
与那嶺 猛氏

教育委員長に 与那嶺猛氏を選任

四月一日付で村の教育委員長がかわりました。教育委員の任期満了により、これまで教育委員長として頑張ってこられた黒島直太委員長が退任されました。長い間大変ご苦労さまでした。

これに伴い新しい委員長に与那嶺猛氏(天底七二)が選任され、また同時に、現教育長の西島一将氏も教育委員として再選任されました。

与那嶺新教育委員長は「現在、求められている教育課題が山積している折、自分何ができるかを模索しながら村教育充実発展の為、誠心誠意頑張っていきたい」と抱負を語っていた。

5月1日より

与那嶺の旧公民館

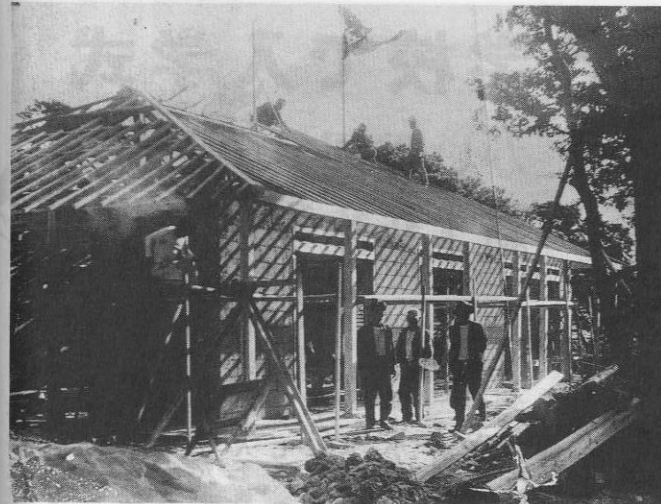
与那嶺の旧公民館は、与那嶺の集落の中心部に近いところに位置する。一九五九(昭和三四)年に建てられた与那嶺の公民館は、三四年間の方々に利用されてきたが、今年三月に取り壊され、新しい公民館(与那嶺構造改善センター)が建設されている。セメント瓦屋根の公民館で今

も使われているのは、今帰仁村で兼次だけになってしまった。写真の公民館は、一九五九(昭和三四)年に建てられたものである。建築から完成まで、屋敷御願(手斧立て)祝い↓柱建て↓棟上げ↓屋根葺き↓家移り↓落成祝などの儀礼があり、写真の場面は屋根の

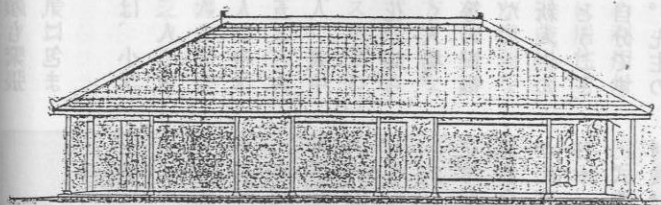
前方のタルキ(垂木)がほぼ打たれ、ちょうど棟上げ式が行われたところである。壁はコンクリートブロックが積まれ、カンナがかけられたばかりの杉の柱が目につく。屋根には鉢巻きをした大工が三、四人、壁に釘打ちをしているのが一人、そして下の方に右から仲宗根松堅氏(大工、二

番頭)・与那嶺盛永氏(大工、棟梁)・西島正男氏(区長)の三人の姿がある。屋根の棟木には、飾り旗がなびき、他に二本の柱が立てられている。その時、棟木に打ちつけられた棟札には一九五九年三月十七日、さらに「紫微鑿駕」と墨書されている(与那嶺盛永氏書)。その裏には、当時の区長西島正男氏をはじめ、園芸組合長玉城敏夫、村議員与那嶺雄一、責任者大城久信・与那嶺盛永・仲宗根松堅・内間博一・金城真松・上間源一・親川松栄・

山内昌俊・玉城秋男・崎山喜順・親川悟・島田肇・与那嶺幸男・与那嶺善正・我那覇宗敏・松田林太郎・金城金栄・与那嶺幸一の各氏の名前が記録されている。図面の仕様には、構造はコンクリートブロック造、平家セメント瓦葺・床コンクリート一部床板張・建坪五十坪、床面積四十・五坪となっている。また、木材はすべて日本杉の一等材を使うことになっている。



▲旧公民館の建設(棟上げ式) (1954年)



▲旧公民館の正面図 (1954年)



▲旧公民館の取り壊し作業 (1993年3月)

今帰仁村内の公民館は、昭和三十年代にこのタイプの瓦屋根のものが数多くつくられた。戦後の間もない頃の茅葺き屋根の公民館から、昭和三十年代の高度成長経済時代にはこのような瓦屋根の公民館がつくられ、公民館のつくりの変遷をみるとムラ・シマの人々の歴史が重なってくる。ムラヤーと呼ばれる与那嶺の木造の旧公民館は、鉄筋コンクリートの建物へ、そして名称を与那嶺構造改善センターとかえ平成五年六月には完成の予定である。ムラ・シマの拠点となる公民館は、新しい装いに身を包み、新しい歴史を刻み込んでいく。

仲原 弘哲
(歴史文化センター準備室)

『なきじん研究3』発刊される 今帰仁の歴史を詳細に

今帰仁村歴史文化センター準備室

このたび、今帰仁村歴史文化センター準備室(今帰仁村教育委員会)から『なきじん研究3』―今帰仁の歴史―が発行された。今回の号は「今帰仁のムラ・シマ」(1号)、「すくみち」(2号)に続く号で「今帰仁の歴史」を中心とした内容である。三編からなり、第一編が今帰仁の歴史、第二編が運天(港)の歴史、第三編がムラ・シマの歴史で構成されている。

一編と二編は、平成二年に開催された歴史資料館準備室の企画展「今帰仁の歴史」をベースにまとめられたものである。三編の「ムラ・シマの歴史」は今泊と仲尾次、謝名の歴史をモデル的に紹介し、さらに写真と歴史的な史料として扱い、そこからムラ・シマの歴史を描いた内容となっている。

くものである。前記三編とは別に「今帰仁の歴史の位置づけ」の項があり、これまでの歴史資料館(歴史文化センター)づくりや準備室の調査研究活動や目的、方法など多岐にわたって述べられている。それを機に今帰仁の歴史研究が、ますます盛んとなり蓄積されていくと思われる。また『なきじん研究』が村民をはじめ、多くの方々に活用されるものと期待される。

講演会 博物館活動と 民俗芸能

「なきじん研究3」の問い合わせは
今帰仁村教育委員会内
今帰仁村歴史文化センター準備室
電話 0980-56-2645 または 2647



▲講演中の大城學氏 (1993年3月)



▲発刊された『なきじん研究3』

『なきじん研究3』の内容は、歴史文化センターの常設展示や企画展に反映されている。

去る三月十三日、コミュニティセンターにおいて今帰仁村教育委員会歴史資料館(歴史文化センター)準備室主催による講演会が開催された。参加者は約八十名。始めに準備室の仲原弘哲よりのこの四年間の活動や歴史文化センターの目的などについて報告がなされた。

講演は「民俗芸能の記録作成と記録機能」「祭り」と芸能の社会的機能」の二部構成。記録保存については祭りに使われたプログラムなど、捨

てられてしまうような用具を資料として保存していくことの大切さが述べられた。「祭りの社会的機能」の部分では、豊年祭などを共に作りあげていくことでそこに生活する人々のシマ意識を支えること、また祭りに参加する若い人達を育てていく学びの場であることも指摘された。

普段当たり前に行っている祭りの意味が、分かりやすくまた心に響く内容であった。(石野裕子記)

本今消防組合が人事異動

分遣所長に宮里氏が就任

四月一日付で消防本部の人事異動が行なわれ新分遣長に宮里貞男氏が就任した。宮里氏は「今帰仁村民の生命、財産を火災から保護するとともに、住み良い明るい村づくりの為に頑張ります」と決意を述べた。

人事異動は次のとおり（）は前職です。

- 今帰仁分遣所長 宮里貞男（消防本部予防課長）
- 消防本部予防課長 喜屋武盛雄（今帰仁分遣所長）
- 今帰仁分遣所警防主任 金城清隆（消防本部救急指導主任）
- 消防本部救急指導主任 嘉数照光（今帰仁分遣所警防主任）
- 今帰仁分遣所警防係 伊是名進氏



名進（消防本部警防係）
消防本部警防係 島袋勝（今帰仁分遣所警防係）
警防係 伊是名進氏
警防主任 金城清隆氏
分遣所長 宮里貞男氏

名進（消防本部警防係）
消防本部警防係 島袋勝（今帰仁分遣所警防係）

学校教育指導主事 安田 榮藏 先生

学力向上全国水準突破めざす

大城淳稔前学校教育指導主事の伊平屋小学校長転出にもない、四月一日付で安田榮藏先生（湧川二三二）が新たに県教育委員会より派遣されました。

安田榮藏先生は就任に当たり「地元今帰仁村の人材育成の為に情熱と誠意をもってつくっていくたい」と抱負を語っていた。

また、玉城清先生は「安田先生を向かえ二人で力を合わせて今帰仁村の学力向上をめざす」と述べた。



安田先生(右)、玉城先生(左) 学力向上の一層の充実めざす

役場 人事異動を実施十一名退職七名採用

三月三十一日付で新垣侃議会議会事務局長、小波津次郎学校教育課長、名城敏子仲尾次保育所主任、玉城安子仲宗根保育所調理員、玉城ヤス学校用務員、我那覇志津子学校用務員、喜屋武花子学校用務員、照屋ツギ子給食センター調理員、玉城静子給食センター調理員、宮里末廣社会教育課文化財係、謝花美津子中央保育所保母が退職しました。長い間大変ご苦勞様でした。

- 職員も発表されました。
- 職員の人事異動は次のとおりです。（）は前職。
- 【総務課】
 - 総務係 立津剛志（経済課 農政係）
 - 出納係 金城寛 樹（総務係）
- 【住民課】
 - 企画係 宮里晃（住民課 国保係）
 - 国保係 新城初美（総務課 出納係）
- 【税務課】
 - 住民税係 我那覇隆文（経済課 林業係）
 - 厚生課
 - 福祉係 城間肇（税務課 民税係）
- 【仲尾次保育所】
 - 主任保母 上間昭子（今帰仁保育所）
 - 保母 金城秀子（仲宗根保育所）
 - 保母 仲松まさみ（今帰仁保育所）
- 【中央保育所】
 - 保母 島袋るみ子（今帰仁保育所）
 - 与那嶺みち子（仲尾次保育所）

無料法律相談のお知らせ

一、玉城弁護士による法律相談が左記の日程で行なわれます。

一、平成五年五月十九日(水)午前10時～午後4時
一、コミュニティセンター(相談室)

（相談室）

【仲宗根保育所】

○副主任保母 与那嶺成江
（昇任・仲宗根保育所）
○保母 松本利恵子（仲尾次保育所）

【今帰仁保育所】

○主任保母 大城信子（昇任・仲宗根保育所）
○保母 内間理世（中央保育所）
○書記兼調理員 根路銘弘美（給食センター）

【経済課】

○農政係 田港朝津（企画財政課企画係）

【学校教育課】

○学校教育課長 玉城真光
（昇任・社協事務局長）

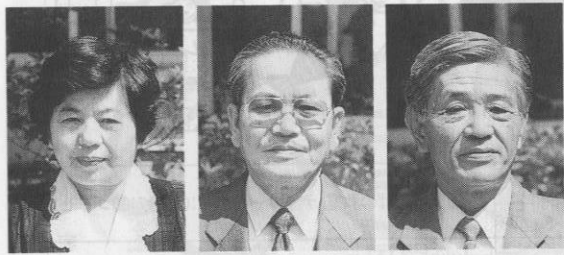
【幼稚園】

○今帰仁幼 小那覇恵子（兼次幼）
○湧川幼 大城郁子（今帰仁幼）
○兼次幼 玉城勝子（天底幼）
○古宇利幼 大嶺典子（湧川幼）
○天底幼 小浜絹子（古宇利幼）

【建設課】

○土木建築係 當山清巳（企画財政課企画係）

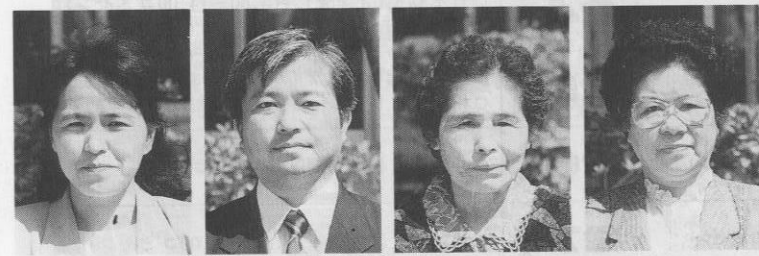
在職中お世話になりありがとうございました。



名城敏子さん 小波津次郎さん 新垣侃さん



喜屋武花子さん 我那覇志津子さん 玉城ヤスさん 玉城安子さん



謝花美津子さん 宮里末廣さん 玉城静子さん 照屋ツギ子さん



保母 宮里優子 文化財係 玉城繁 林業係 宮里政有



調理員 当山綾子 調理員 上野しのぶ 調理員 大城幸子 保母 安田美智代

すべての人々に 人間の尊厳を



赤十字社員増強運動月間 5月1日～5月31日

村民のみなさんへ

日本赤十字社は人道博愛を基調として、世界150ヶ国の赤十字社と手をつないで、世界平和と人々の幸福を願い、その使命達成のためにいろいろな活動をしています。

この事業に必要な資金は、村民の皆様から寄せられる社費や寄付金によってまかなわれております。

今年も5月から県下一斉に「赤十字社員増強運動」を展開いたしますので、この趣旨をよくご理解いただき、ご支援、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

平成5年5月

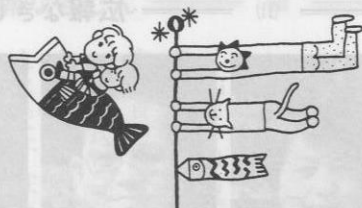
日本赤十字社沖繩県支部
今帰仁村分区長 上間 博安

新採用職員です。 よろしくお願ひします。

5月/皐月

村民カレンダー

1993年



5/1 土	○憲法週間～7日まで ○おもちゃ図書館(9:00～12:00コミセン)
2 日	
3 月	○憲法記念日 ○デイサービス(土・日・祝祭日除く毎日10:00～17:00コミセン)
4 火	○国民の休日
5 水	○こどもの日
6 木	○ポリオ(13:00～14:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00～17:00コミセン) ○青少協総会(15:00～公民館講堂)
7 金	○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
8 土	○おもちゃ図書館(9:00～12:00コミセン)
9 日	○第11回今帰仁村ソフトボール選手権大会(村運動公園)
10 月	○DDT(13:00～14:00コミセン) ○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン) ○教育懇談会～21日まで(各字公民館)
11 火	○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
12 水	○看護の日 ○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00～17:00コミセン)
13 木	○幼児ことばの教室(9:00～17:00コミセン)
14 金	○日本脳炎(モレ者)(13:00～14:00コミセン) ○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
15 土	○おもちゃ図書館(9:00～12:00コミセン)
16 日	○第7回今帰仁村バレーボール選手権大会(北山高・今中) ○乳児一般健診(13:00～14:00コミセン)

17 月	○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
18 火	○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン) ○ソフトテニス教室～22日(運動公園)
19 水	○無料法律相談(10:00～16:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00～17:00コミセン)
20 木	○幼児ことばの教室(9:00～17:00コミセン) ○離乳食実習(13:30～16:00コミセン) ○村公連総会(中央公民館)
21 金	○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
22 土	○おもちゃ図書館(9:00～12:00コミセン)
23 日	
24 月	○日本脳炎(3才児)(13:00～14:00コミセン) ○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
25 火	○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン) ○村民レクリエーション大会～29日まで(運動公園)
26 水	○心配ごと相談(13:00～17:00コミセン)
27 木	○幼児ことばの教室(9:00～17:00コミセン)
28 金	○県教育長激励会(16:00～20:00コミセン) ○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
29 土	○おもちゃ図書館(9:00～12:00コミセン)
30 日	○ごみゼロの日
31 月	○老人大学開講式(コミセン) ○今帰仁村社会教育指導者研修会(20:00～21:30コミセン) ○幼児ことばの教室、デイサービス(9:00～17:00コミセン)
6/1 火	○気象記念日 ○電波の日

ご寄付

■村社会福祉協議会へ

○諸喜田千代子さん(兼次二五四)より母、ウシさんの香典返しとして十五万円。

○与那嶺登臣さん(上連天一二四四)より母、ウタさんの香典返しとして五万円。

○島袋俊幸さん(諸志一七九)より母、ウタさんの香典返しとして五万円。

※ご芳志ありがとうございました。

編集後記 情報コーナー



■入学式から一ヶ月が過ぎ、一年生のはつらつと登校する姿が見受けられます。ドライバーの皆さん、登下校時間帯などは、特に気を付けて運転してほしいものです。

■情報コーナー

「催しの案内」「募集します」「譲って下さい」「譲ります」など呼びかけたい事がありましたら広報係まで電話下さい。